

リリースノート：AJA リテールドライバ v5.5.2

全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Windows Software 5.5.2は、KONAシリーズとio Expressシリーズに新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ Windows 7 (64bit)
- ・ このインストーラを使用する前に、以前のAJA XENAまたはAJA Windowsソフトウェアを取り除く必要があります。
- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URL (英語) を参照してください。

<http://www.aja.com/support/kona-pc/kona-pc-system-configuration.php>

<http://www.aja.com/support/kona/kona-system-configuration.php>

- ・ NVIDIA Quadroを使用する場合の推奨ドライバについては、下記URL (英語) を参照してください。
<http://www.aja.com/support/kona-pc/kona-pc-graphics-cards.php>
- ・ このインストーラを使用する場合は、インストーラを右クリックし、「管理者として実行」を選択し、管理者アカウントでの実行をお勧めします。ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効に設定している場合、このオプションは表示されません。

新機能

- ・ KONA LHe Plusのサポート
- ・ 分割されたドライバとプラグインインストーラ

このインストーラにはKONAとio Expressの為のハードウェア・ドライバだけが含まれます。Machinaやアプリケーション用プラグインは含まれません。必要に応じてAdobeやEyeonの対応プラグインをダウンロードしてインストールして下さい。それぞれのインストーラは、AJA Win Adobe Plugins 5.5.2, AJA Eyeon Plugins 5.5.2, AJA Machina5.5.2です。インストールの詳しい情報についてはインストーラに含まれるPDFマニュアルをご参照ください。

- ・ “Aggressive Cache”モードをPremiere Pro Player設定に追加

一般設定オプションにおいて、“Aggressive Cache”を選択できます。AJAプラグインはこのモードが選択されているとき、再生中のタイムラインを通常より先までキャッシュします。この機能によりマイナーなドロップフレームの発生を軽減させることが出来ます。この機能は、一部のDSLRクリップを開くのに非常に長い時間が掛かったり、再生時にドロップフレームが発生する現象改善の為に作成されました。このモードを使用すると、より多くのRAM消費するほか、スクラブやストップ/スタートの応答に若干の低下があるかも知れません。このモードは、テープにマスタリング/レイオフする際に使用し、それ以外の時には使用しないのが理想的な使用方法といえます。

- ・ “Quality”設定をPremiere Pro Player設定に追加

“Quality”設定は、Premiere ProでAJAシーケンスの映像品質と編集/再生パフォーマンスをコントロールするのに用いられます。この設定はレンダリング品質について、どのアルゴリズムを使用するかをPremiere Proと調整します。これはスクラブと再生に影響します。“Lower”設定では、映像品質をわずかに落とし、インタレース、カラーコンバージョン、トランスフォームやその他のエフェクトについて、より速いアルゴリズムを使用するようPremiereをコントロールします。“Higher”設定ではスクラブ/再生パフォーマンスを犠牲にする代わりに、複雑なアルゴリズムを使用したより高品質な映像品質をもたらします。

- ・ KONA LHeを含む改善されたマニュアル

KONA LS、KONA LSe、KONA LHとKONA LHeは終息となりマニュアルから取り除かれました。それらのカード特有の情報は以前のマニュアルを参照して下さい。これらのカードは新しいマニュアルには含まれてませんが、このドライバのサポートに含まれています。

改善点

- ・ Adobe Premiere Pro CS5.5 AJAシーケンスのスクラブ パフォーマンスを改善
- ・ Premiere ProタイムラインにおいてAVC-Intraの再生時にグリーンにフラッシュする不具合を修正
- ・ Premiere ProのAJAシーケンスにおいてAdobeエフェクトコントロール、オーディオミキサー、ソースモニタを使用時に、デスクトップビデオが正しく再描画されない問題を修正
- ・ Premiere ProタイムラインにおいてDSLR/H.264クリップにトランジションを掛けた場合、ドロップフレームが発生する問題を修正。ただし完璧なパフォーマンスを保証するものではないので、ドロップフレームが発生する場合には新たに実装された “Aggressive Cache”モードを参照、使用して下さい。
- ・ Premiere Proからテープへのインサート編集時、誤ったタイムコードでインサートする問題を修正
- ・ Premiere ProタイムラインのKONA出力において、スクラブ/再生時に色味がわずかにシフトする問題を修正
- ・ Premiere Proのタイムライン再生時、まれにA/V同期が外れる問題を修正
- ・ Premiere Pro使用時、オーディオバッファの古いオーディオサンプルがパージされず、再生/スクラブ中にリピートされてしまう問題を修正
- ・ AfterEffectsプラグインでYUV出力設定を行った際に、KONAの出力とアプリケーションの動作が不安定になる不具合を修正
- ・ 一部のH.264/ProRes .movファイルが Premiere Proの再生パフォーマンスを低下させる不具合を修正
- ・ Premiere Proで作成したタイトルがKONAから正しく出力されてない不具合を修正
- ・ Premiere Proにおいてクローズドキャプション使用時にグリーンにフラッシュする不具合を修正
- ・ Premiere Proのメモリリーク問題を修正
- ・ Premiere Pro AJAシーケンスにおいてキーボードコントロールの不具合を修正
- ・ Premiere Proタイムラインの再生において “stop on dropped frame”機能が有効となっている時、停止位置より10フレーム手前で再生が停止してしまう不具合を修正

既知の問題と制限

- ・新しいPremiereプロジェクトはシーケンスの設定がデフォルトに戻ってしまうため、再生品質に注意しなければなりません。AJAは最高品質での再生パフォーマンスを得るため、フル解像度での再生を推奨します。
- ・Premiere Proのクローズドキャプション機能をオン/オフした際、アプリケーションはすぐに反応しないかも知れません。この問題を回避するには、他のアプリケーション、あるいはデスクトップをクリックすることによって一端Premiere Proを離れ、再度Premiere Proに戻って下さい。
- ・Premiere Proにおいてクローズドキャプションデータはデスクトップには表示されません。
- ・非圧縮RGB QuickTimeファイルにエフェクトやトランジションは非リアルタイム処理となります。リアルタイム再生するためにはレンダリングが必要です。
- ・KONA 3G/3において、3D CineForm AVIファイルをフル解像度で再生出力することは出来ません。CineForm Neo3D Toolkitを使用して3D CineForm AVI FileをQuickTimeファイルにラップしなければなりません。
- ・KONA LHiでRGB出力する際は、Premiere Pro 1080p50/60においてソフトウェアによる色空間変換を使用する必要があります。この設定はPremiere Proの再生設定で変更出来ます。
- ・HDMIでプログレッシブ出力を行う際は、ツーループログレッシブにセットする必要があります。多くのユーザーはSDI/コンポーネント伝送のための「psf」になっています。AJAの1080pプロジェクトは「psf」がデフォルトとなります。Premiere Proの再生設定で'disable segmented frames'をチェックし、強制的にツーループログレッシブに変更します。
- ・Premiere Proのオーディオ ハードウェアセクタにはXENA ASIOドライバが表示されますが、Premiere Proでは使われません。Premiere Pro デフォルトのオーディオ装置を選択してください。
- ・Eyeon Fusion 64bit版はサポートされますが、32bit版はサポートされません。Fusion 32bit版をKONA LS/LSe, HS, LH/LHe, 2K/2Kで使用するユーザーはXENAドライバ Ver3.5.xを使用する必要があります。KONA Fusion 32bit版は、KONA LHi, lo Expressをサポートしません。
- ・lo Expressを、現行までのMacBook Proで動くBootcamp上のWindowsで使用する事は推奨されません。Mac Pro上での使用は可能です。
- ・AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。
- ・Variable Frame Rates (VFR) のブルダウン追加は、タイムコード情報に最適化しません。
- ・今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時にはブルダウンフレームレートが動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。